

## パラスポーツ体験会を通じた学校交流

あいおいニッセイ損保様、日本パラ射撃連盟様、堀江車両電装様、足立区様  
ご支援ありがとうございました

東京2020大会のレガシー教育の一環として、足立区立花畑第一小学校の3年生の児童74名とともに、パラスポーツ体験会を行いました。当日は2名のパラリンピアンが来校し、競技のデモンストレーションを見せていただいたり、児童・生徒が直接競技を教わったりしました。また、障害がある子が楽しめるように工夫して作られた大型野球盤の体験も併せて行いました。花畑第一小の児童は3つの会場を順番に回り、各会場で本校の児童・生徒と競技の体験を通して交流を深めることができました。



講師として、東京2020パラリンピック競技大会やり投げ6位入賞の白砂匠庸(しらまさ たくや)選手、パラリンピックにはアテネ、北京、ロンドンと3大会連続で出場している射撃の田口亜紀選手をお招きしました。



パワーアップした大型野球盤。紐を引くことでバットが回転して打球を飛ばします。紐を引くタイミングを合わせてホームランをねらいます。



やり投げ、白砂選手の豪快な投擲を間近で見たと、ジャベリックボール投げの体験しました。投げ方のコツを教わり記録が伸びていく児童・生徒もいました。片腕が義手である白砂選手、靴紐の蝶結びを片手でするところを見せていただき、あきらめずにコツコツ練習することの大切さを教



ビームライフル体験では、花畑第一小の児童と花畑学園の児童が共同してねらいを定め、引き金の代わりにスイッチを押すことで発射します。小さな動きで的から大きく外れますが、集中力を発揮し10点(満点)を続けて取る児童もいました。